

ユニリタマガジン

# UNIRITA

vol.78

Magazine



## 特集

ユニリタグループの強み  
「サービスマネジメント」と「データマネジメント」  
がビジネスの未来を創る!

- ・オートメーションハブ auttit
- ・専門知識不要でSaaS連携を自動化する bindit
- ・進化する基盤のジョブ運用を支える A-AUTO

8年ぶりに大津での開催が決定! 琵琶湖畔に集う  
第41回 UNIRITAユーザシンポジウム

データ活用人材の祭典  
「Waha! Day 2024」開催決定!

# ユニリタグループの強み 「サービスマネジメント」と「データマネジメント」が

先日発表したユニリタグループ新中期経営計画「Re.Connect 2026」にて、ユニリタグループは「サービスマネジメント」と「データマネジメント」という2つの強みを活かし、お客様のIT課題、事業課題や社会課題解決を支援していくことを提示しました。

今号のユニリタマガジンでは、新たなユニリタグループの事業コンセプトについてご紹介します。

## コンセプトの背景：DXを推進し、サステナビリティ経営へとつなぐ

新たな事業コンセプトの背景として、企業は社会的要請により事業を通じた社会課題の解決を進め、持続可能な経営としてサステナビリティ経営に向かっています。

現状、デジタルを用いたビジネスモデル変革(DX:デジタルトランスフォーメーション)を通じた事業成長に取り組んでいたとしても、今後は持続可能な事業成長を両立するサステナビリティ経営への変革(SX:サステナビリティトランスフォーメーション)に向けた取り組みも不可欠となるため、DXとSXを両輪で進めていく必要があります。

## DXとSXにおける組織横断型の変革とITサービス・データの重要性

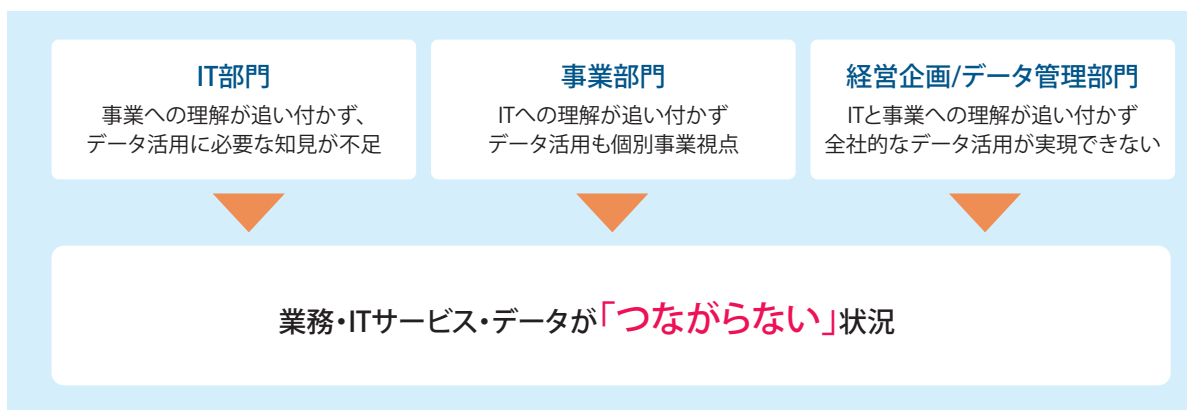
DXでは、ビジネスモデルが従来の「モノの販売」から「継続的な利用による収益モデル」へと変化し、クラウドサービスやIoTなどのITサービスが、この新しい収益モデルを支える重要な基盤となっています。また、変化の激しいビジネス環境では、データに基づいた迅速な改善と意思決定が求められており、データ活用の重要性がますます高まっています。

SXでは、少子高齢化や人口減少が進む中で、不足する労働力を補うためにITサービスの利用が加速しています。地域の活性化に関する社会課題でも、交通や医療などのサービスを届けるためにITサービスが活用されています。社会課題を解決するためにも、ITサービスで収集したデータにより、多様なライフスタイルに合ったサービスを提供する必要があります。

どちらの変革においても、業務プロセスの変革とITサービスやデータ活用の仕組みが連携し迅速な意思決定を可能にする必要があります。これらは多数の部署をまたぐ仕組みであり、組織横断型の変革プロジェクトを組成し、業務・ITサービス・データの知見を出し合いながら、協力して変革を推進することが重要です。

### 組織とITサービスとデータを取り巻く「つながらない状況」

しかし、組織横断型の変革プロジェクトを組成しても、複数の組織をまたぐ業務プロセスの全体像を把握できず、業務とITサービス、データの整合性が十分取れていないため、期待する成果が得られない状況があります。



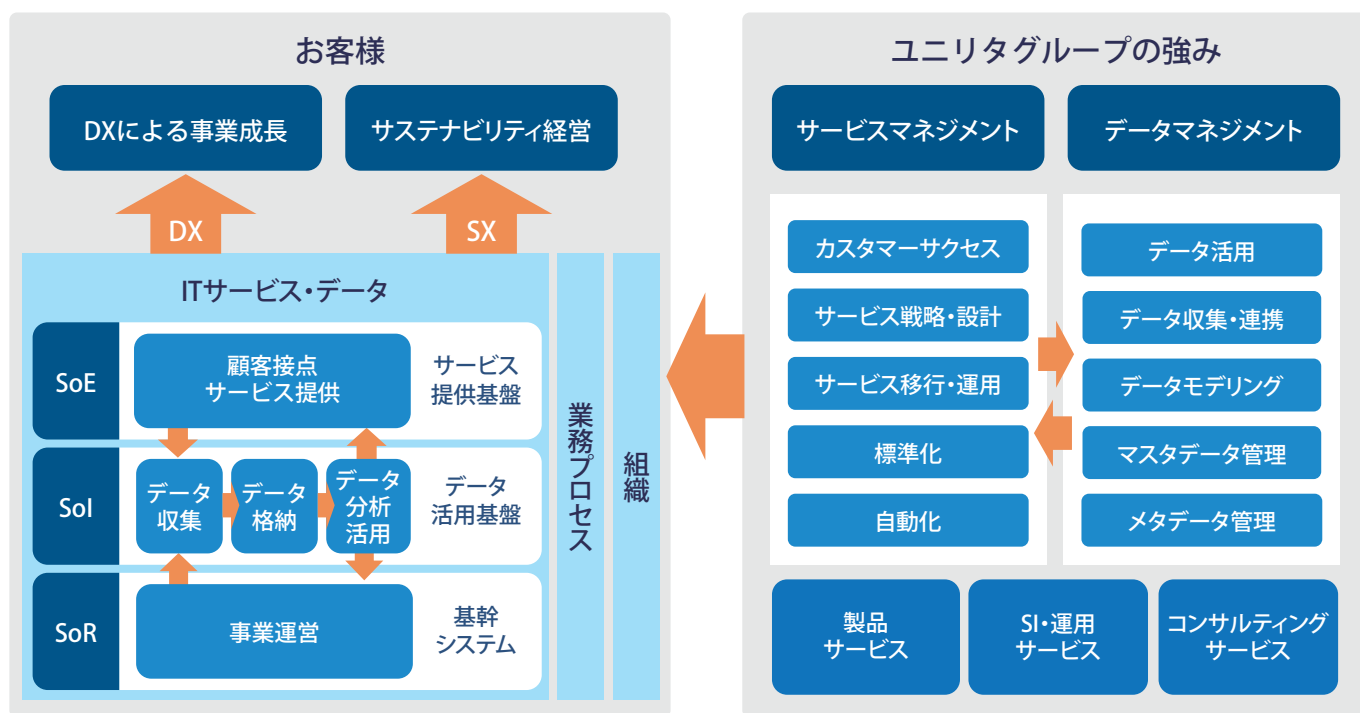
これは、IT部門、事業部門、経営企画/データ管理部門の専門性や業務プロセスが異なること、またデータ活用に関する共通認識が不足していることが原因の1つです。組織横断型の変革プロジェクトだけでは解決せず、共通のプロセスやルール、基盤の整備が必要となります。

# ビジネスの未来を創る！

## ユニリタグループの新たな事業コンセプト

～ Connect Services and Data for Transformation (変革実現のためにサービスとデータを「つなぐ」) ～

ユニリタグループの強みである「サービスマネジメント」や「データマネジメント」は、デジタルを用いたビジネスモデル変革(DX)や持続可能な事業成長を両立するサステナビリティ経営への変革(SX)を実現するためにお客様の視点に立ち、ITサービスとデータをつなげ、組織横断型の変革を実行する組織・プロセス・基盤を構築していくことです。



### <ユニリタグループの強みのポイント>

DXとSXを進める上で必須となるITサービスやデータを通じて、成果を出すための組織や業務プロセスの構築が可能

IT部門がビジネス視点を有し、事業変革に貢献していくための推進組織の立ち上げやサービス開発、運用などの伴走支援が可能

DXおよびSXの推進に求められるITサービスやデータを効果的に管理・活用するための基盤の提供が可能

### <サービスマネジメントとは>

「サービスマネジメント」とは、顧客のニーズに合致した適切なITサービスを提供するマネジメント活動全般を示し、ビジネスとITをつなぎ、サイロ化した運用から顧客志向の価値提供を実現するため、組織と人、テクノロジー、パートナーやサプライヤー、価値提供の流れやプロセスを適切に管理することです。

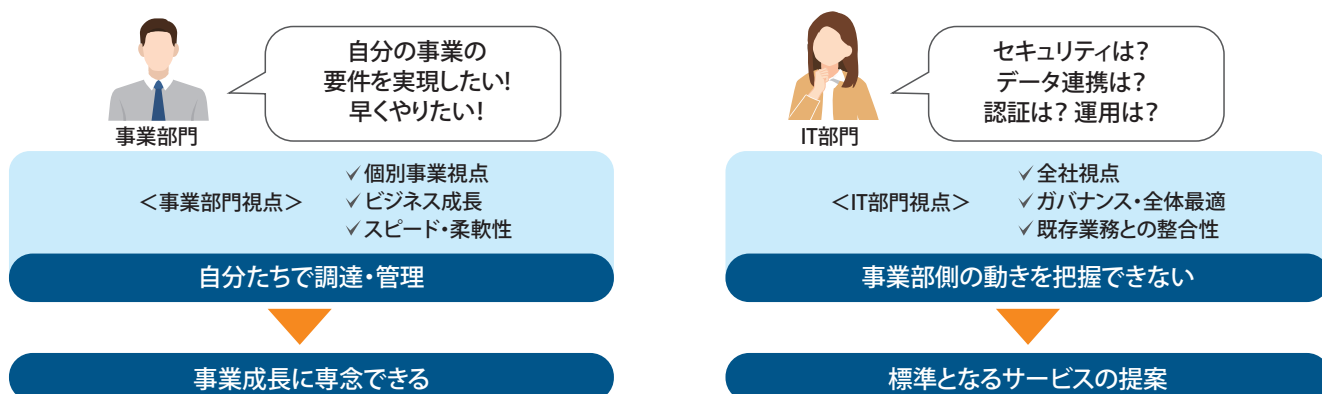
### <データマネジメントとは>

「データマネジメント」とは、企業活動において正しいデータを適切なタイミングで利用するため、データに関わる戦略策定・計画、データの設計、データを蓄積する仕組みの構築や維持、データの利用に関わる活動を通じ、データを適切に管理することです。



## DXを進める上で求められる事業とITをつなぐサービスマネジメント

ITサービスを活用したデジタルビジネスの創出が進む中で、主導するのは事業部門であることが多くなっています。その結果、事業部門とIT部門の目的の違いから、IT部門視点での「サービスマネジメント」が受け入れられにくくなり、IT部門が関与しないITサービスが次々と導入されている状況です。これにより、既存システムとの整合性が取れなくなり、システム間の連携がますます複雑化しています。



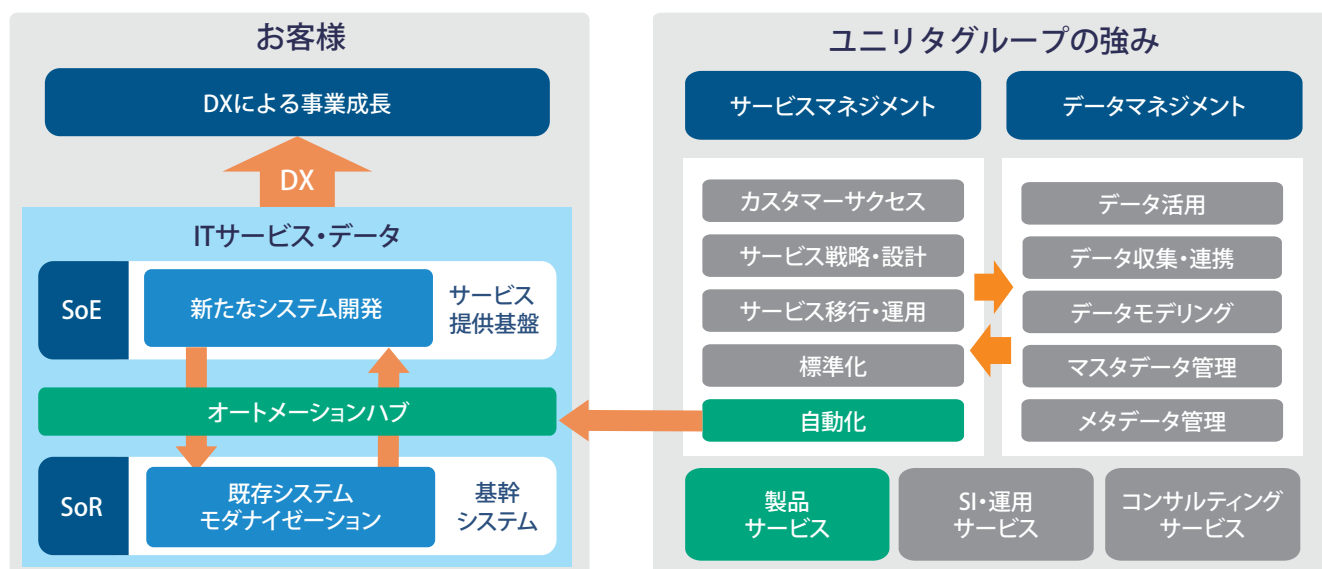
IT部門は事業部のニーズに応えながら、前述した問題に対処し、全体最適を実現するため、事業成長を促進する標準となるクラウドサービスや運用設計のガイドラインなどを整備し、提案することで事業を支援していく必要があります。

## 新規システムと既存システムの連携を加速させるオートメーションハブ

DXの推進に伴い、IT部門では老朽化したシステムを現代のビジネスに合わせて、新しい技術などを用いて近代化を図ったり、事業部門ではビジネスそのものをITを使って変革し新たな価値提供を行うためのシステムを開発したりと、システム開発を行う機会は増えています。

新しいシステムの開発において、開発スピードを低下させる1つの要因として既存システムとの連携があります。せっかく新しいアーキテクチャでシステムを開発しても既存システムとアーキテクチャが異なることから連携部分の開発に多くの時間をさくことになります。

ユニリタグループでは、これらの課題を解決する手段として「サービスマネジメント」の考え方にに基づき新規システムと既存システムの連携を加速させるオートメーションハブという考え方を提唱します。



「auttit (オーティット)」はクラウドネイティブなアプリケーションで構築されるシステムの開発効率を向上させるSaaS型オートメーションハブです。

DXの加速に伴い構築されるシステムは、以前に比べて開発スピードが求められるケースが増えています。また、目まぐるしく変わる市場の状況に合わせてアジャイル開発が主流となり、必要最低限の機能や要件でシステムを立ち上げる機会も増えています。このように開発スピードやスモールスタートが求められるシステムでは、サーバーレスアーキテクチャを採用しクラウドネイティブなシステムで、これらの要件を満たそうとすることがスタンダードとなっています。

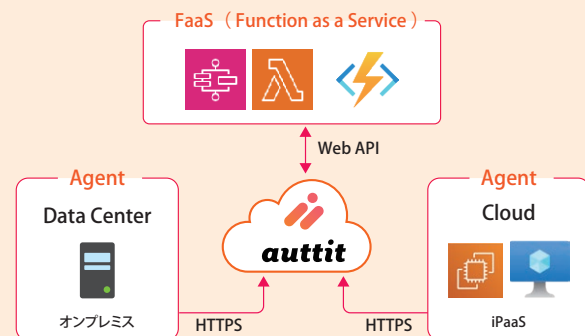
一方で、クラウドネイティブなシステムであっても、オンプレミスのシステムと連携を完全に断つことはできず、連携をしなくてはならないケースは多々あります。しかしながら、クラウドベンダーが提供するサーバーレスアーキテクチャ基盤は、この基盤上ですべての処理を完結させることに最適化されているため、オンプレミスとの連携が必要な場合に、複雑な処理を実装したり、オンプレミス側のシステムを修正する必要があります。

「auttit」は、クラウドネイティブなシステムとオンプレミスの連携をより簡単に実現するだけでなく、ジョブ管理ツールのようなワークフローによる実行制御と柔軟なスケジューリング機能で複数の環境にまたがるシステムの処理を自動化します。また、料金モデルも処理の実行数に応じた従量課金になっており、初期費用を抑えスモールスタートが可能です。

## 3つの特長

### ① オンプレミスシステムとのシームレスな連携

「auttit」は、Web APIのインタフェースを備えており、クラウドネイティブなシステムとオンプレミスのシステムをシームレスに接続することができます。また、クラウドネイティブなシステムからオンプレミスの処理を簡単に実行することができるだけでなく、実行結果をWeb APIのレスポンスとして受け取ることもできます。これによりオンプレミス側で実行した処理の結果をクラウドネイティブなシステム側で受け取ることも簡単にできるようになります。



### ② 多彩なスケジュール機能とワークフローによるシステムコントロール

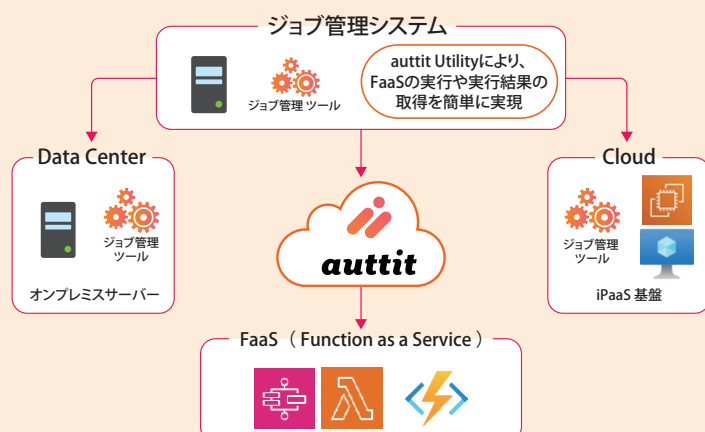
「auttit」は「A-AUTO」で長年培ってきたきめ細かいスケジューリング機能を継承しています。独自の業務カレンダーを作成して休日定義や休日シフトなどを定義することができます。

現在、大手クラウドベンダーから提供されているサーバーレスアーキテクチャ基盤では、cronやタスクスケジューラで定義できるような簡単なスケジュールパターンのみで、複雑なスケジューリングが必要な場合、独自の処理を実装する必要がありますが、「auttit」をスケジューラとして利用することで簡単に実現することができます。

また、ワークフローも作成することができますので、「auttit」をプラットフォームとして利用することで複数のクラウドネイティブで実装されているワークフローの実行を統合的に制御できます。

### ③ オンプレミスを中心としたシステムからのコントロール

クラウドネイティブなシステムはまだ一部に限られており、依然として多くのシステムがサーバーを必要としています。また、従来の堅牢な仕組みでシステムを管理したいというニーズも根強く存在します。こうした背景から、オンプレミスのジョブ管理ツールなど、基幹システムで広く使われる運用ツールを活用しつつ、クラウドネイティブなシステムも管理できる機能を提供しています。



# 専門知識不要でSaaS連携を自動化する bindit



「bindit(バインドイット)」は、専門知識がなくてもSaaS連携を自動化できるクラウドサービスです。あらかじめ用意された業務フローのテンプレート「レシピ」を選ぶだけで、誰でも簡単に自動化を開始できます。

例えば、電子契約を自動化するレシピを選べば、Gmailに添付されている契約書を自動的にクラウドサインに下書き登録できチャットで教えてくれます。あとは自動で作成された下書きを確認し送信するだけです。「bindit」を使うことで普段のちょっとした業務が楽になります。

この「bindit」の特長は以下の点があります。

## ITスキル不要

ITエンジニアでなくても利用できるシンプルな設定画面により、最小限の設定項目によって数ステップで連携フローを設定できます。

## レシピ

よくある業務フローがあらかじめ「レシピ」としてテンプレート化されているので、誰でも簡単に業務フローを自動化できます。契約業務以外にも、スケジュール管理、お問い合わせ対応、営業支援、入社手続きなどの業務一般、コミュニケーション、名刺発注管理など、さまざまな業務の効率化に役立つレシピが用意されています。

## 独自の連携フロー作成

レシピにない業務フローも、連携させたいSaaSを自由に組み合わせ、独自の連携フローを作成できます。



## 電子契約を自動化

契約書をクラウドサインへ登録する

# 進化する基盤のジョブ運用を支える A-AUTO



ジョブ管理システム「A-AUTO」は、1977年にメインフレーム版がリリースされて以来、長年にわたり多くの企業で使用され、信頼を築いてきました。もうすぐ50周年を迎える「A-AUTO」は、時代のニーズに応じて進化し続けており、近年では特に以下の取り組みが注目されています。

## 1.クラウドシフト/リフト

企業のサーバーインフラの管理および保守の負担を軽減するため、「A-AUTO」は多様なクラウドサービスへの柔軟な移行をサポートしています。冗長構成やディザスタリカバリ(DR)構成など、運用要件に応じたクラウド上のシステム構成に対応可能です。

2024年4月、「A-AUTO」はAWSの認定ソフトウェアとして登録されました。これにより、AWS環境での運用において高い信頼性とセキュリティが保証されます。

「A-AUTO」は、これらの取り組みを通じて、企業のデジタルトランスフォーメーションを強力に支援し、現代のIT環境における信頼性と効率性を高め続けています。

## 2.メインフレーム・マイグレーション

メインフレーム(MF)の老朽化や保守人材の不足が進む中、マイグレーションに関するご相談が多く寄せられています。MFとオープン環境とのジョブ連携が可能な「A-AUTO」は、MFから段階的にスムーズな移行を実現します。また、AWS Mainframe Modernizationにおけるジョブ運用など、モダンなIT環境への移行をさらに強化しています。\*

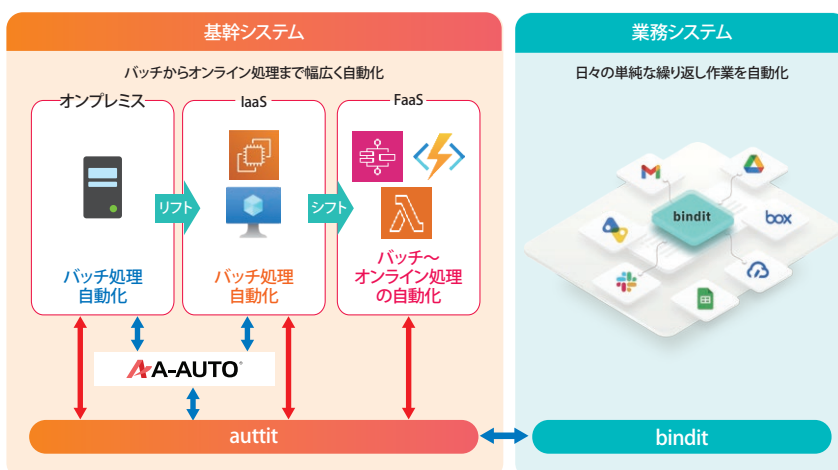
※1 Amazon Web Services ブログ: AWS Mainframe Modernization Blu Age によるバッチジョブの移行と運用

# ビジネスオートメーションブランドでDXを加速

これまでユニタでは「A-AUTO」を中心として基幹システムのバッチジョブの自動化でお客様のシステム運用の安定運用、効率化に取り組んできました。

昨年度にはシステム運用から少し離れ事業部門の業務自動化推進という視点で「bindit」をリリースし、非IT部門によるDXの推進を支援してきました。今年度は新たにSaaS型オートメーションハブとなる「auttit」をリリースすることで、システム開発部門の開発効率向上によるDXの推進を支援していきたいと思っています。

「A-AUTO」「bindit」「auttit」の3サービスをビジネスオートメーションブランドとしてより多くのIT課題をオートメーションで解決します。





# 8年ぶりに 大津での開催が決定！ 琵琶湖畔に集う

## 第41回 UNIRITA ユーザシンポジウム

毎年恒例のUNIRITAユーザ会主催のイベント「UNIRITAユーザシンポジウム」が、今年度も内容をさらにパワーアップして開催されます！  
今回は会場を福岡から滋賀のびわ湖大津プリンスホテルへと移します。  
美しい琵琶湖の景色の中で皆さまとお会いできることを楽しみにしております。  
皆さまのご参加をお待ちしております。

### 開 催 概 要

#### 開催期間

2025年3月6日(木)～3月8日(土)

#### 会 場

びわ湖大津プリンスホテル  
(滋賀県大津市におの浜4-7-7)

昨年度の第40回UNIRITAユーザシンポジウムは、皆さまのご協力のおかげで盛況のうちに終了することができました。ご参加いただいた方には心より感謝いたします。

今年度も500名規模のリアル開催イベントとして、多くの方々のご参加をお待ちしております。

さて、今年度は会場を福岡から滋賀県大津へと移し、より一層魅力的な環境で皆さまをお迎えいたします。大津は、琵琶湖の美しい風景や歴史ある名所が点在する地域であり、リラックスできる絶好のロケーションです。大津での開催は8年ぶりとなりますが、これまでと変わらない温かい雰囲気と、これまで以上に充実したプログラムを企画検討しています。



昨年度の最優秀活動賞受賞グループ

最新のIT情報を得るだけでなく、参加者同士の交流や情報交換の場として、また新たなビジネスチャンスを見つける機会として、ぜひ積極的にご参加ください。

大津で皆さまにお会いできることを心より楽しみにしております。



前回の大津開催風景

UNIRITAユーザ会  
Webサイトはコチラ！

<https://www.uniritauser.jp/>

## 滋賀県大津周辺の見どころ

### 歴史と文化

大津は、長い歴史を持つ都市で、特に石山寺や延暦寺など、歴史的な寺院が多くあります。これらの寺院は、古くからの信仰の中心地であり、文化的にも重要な場所です。延暦寺は比叡山に位置し、日本仏教の重要な中心地として知られています。

### アクセス抜群！大津から京都・大阪へ

大津は京都市に隣接しており、電車で2駅、約10分程度で京都にアクセスできます。そのため、観光の拠点としても非常に便利。また、関西地域へのアクセスも良好で、大阪への移動も容易です。

# データ活用人材の祭典 「Waha! Day 2024」開催決定!

「Waha! = Wakuwaku と aha! 体験」を提供するデータ活用人材の祭典「Waha! Day 2024」の開催内容が決定しましたので、プログラムや詳細なスケジュールについて、ご案内します。

イベントテーマ .....  
**今こそデータ活用を ～データ連携と共創で生みだすビジネス変革～**

開催方式 .....  
**Zoomウェビナーにて  
オンライン開催**

開催日程 以下の日程で開催します

**11月12日(火) ビジネスDay**

「データ活用」の導入・浸透を目指すすべてのビジネスパーソンに向けて、データ活用・連携によってビジネス変革を実現したユーザー様の事例講演やパートナー様講演を通じて、何かしらのヒントを持ち帰っていただきます。

こんな方にオススメです!

- ・データ活用・連携を通じて業務や組織を改善したい方
- ・実際の事例を参考に、具体的な解決策を見つけたい方
- ・生成AIを活用してビジネス変革を目指す方

主なプログラム

ゲスト講演



講演タイトル：  
結果に繋がる正しいデータ・生成AI活用  
メディアスケッチ株式会社 代表取締役/  
IoT・AI評論家/サイバー大学 准教授  
伊本 貴士 氏

ユーザー様講演

月80時間の作業を10分に削減!  
Waha! Transformer×デジタルツールで作る管理会計エンジン  
株式会社アテナ 様

現場データの見える化による安全・品質の向上  
株式会社安藤・間 様

Waha! Transformerの本領発揮  
REST APIを活用したデータ連携業務の改善  
株式会社ヒューアップテクノロジー 様

パートナー様講演

【製造業事例に学ぶ】現場データから企業変革を起こす方法  
ウイングアーク1st株式会社 様

DocuWare(コンテンツ管理サービス)とWaha! Transformerで  
実現するプロセスオートメーション  
～導入事例から見る、業務改善の取り組みと効果～  
リコージャパン株式会社 様

**11月15日(金) テクニカルDay**

データ活用・連携の課題に対して、一般的なテクニカル情報や豊富な事例、「Waha! Transformer」の最新情報や中長期的な展望をご紹介します、実務に役立てていただきます。

こんな方にオススメです!

- ・「Waha! Transformer」の最新情報に興味がある方
- ・データ活用・連携に関するテクニカルな知識やノウハウを知りたい方



講演タイトル：  
事業会社でDXに取り組んできた5年間 -  
振り返ると何が良かったのかを徹底解説  
株式会社クレディセゾン 取締役(兼)専務執行役員CDO(兼)CTO  
小野 和俊 氏

ユニリタグループ講演

- ・売上アップの新常識!  
～セールス/CSの属人化を解消するセールスイネーブルメント戦略～
- ・顧客対応力強化!コンテンツマネジメントで差をつける
- ・「ユニバーサル構想」から次世代Waha!へ
- ・Waha! Transformer 最新情報のご紹介

コミュニティサイト「Waha!らぼ」連動企画

- ・Waha! Transformerちょいワザ自慢 発表会
- ・2024年度 アワード表彰

アンケート回答特典

アンケートに回答いただくと抽選で、以下の景品をプレゼントします!

- ・旅行カタログギフト EXETIME(2名様)
- ・BARTH 入浴剤&ナイトケアセット(6名様)
- ・モロゾフ ロイヤルタイム(6名様)



詳細な内容や  
お申し込みはこちら

ビジネスDay(11/12) [https://cl.unirita.co.jp/mg78\\_wad1](https://cl.unirita.co.jp/mg78_wad1)  
テクニカルDay(11/15) [https://cl.unirita.co.jp/mg78\\_wad2](https://cl.unirita.co.jp/mg78_wad2)

株式会社ユニリタ

本社 〒108-6029 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟  
名古屋営業所 〒451-0045 名古屋市西区名駅3-9-37 合人社名駅3ビル

ユニリタグループ

株式会社ヒューアップテクノロジー / 株式会社データ総研 / 備実必(上海)軟件科技有限公司 /  
株式会社ビーエスピーソリューションズ / 株式会社ユニ・トランド /  
株式会社ユニリタプラス / 株式会社無限 / 株式会社ユニリタエスアール

UNIRITA

[www.unirita.co.jp](http://www.unirita.co.jp)

※ 本誌掲載の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

※ 掲載されている内容については、改善などのため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

© 2024 UNIRITA Inc. MG78-2410-800-1